

5 . たばこ

スローガン

吸う人のマナーで吸わない人の健康を守ろう

(1) 現状と課題

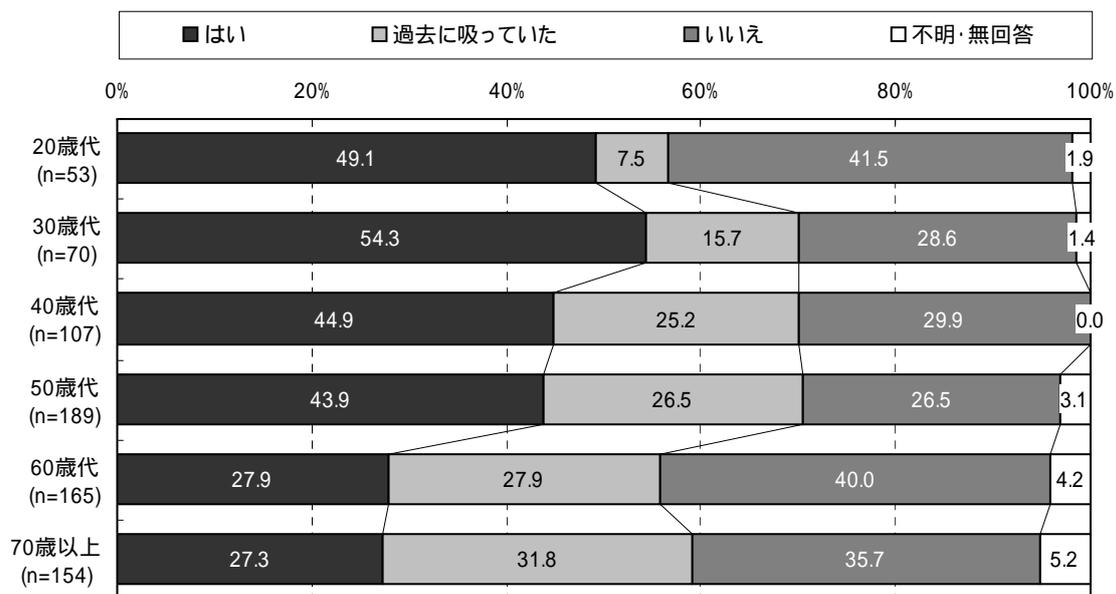
喫煙の有無をみると、女性よりも男性のほうが喫煙している人の割合が高く、年代別に見ると、20歳代～50歳代での割合が高くなっています。また、喫煙している人のうち、6割以上が「たばこをやめたい」と回答していますが、たばこをやめるための教室への参加意向は低く、今後、たばこをやめるためのきっかけづくりが必要だといえます。

一方、喫煙が及ぼす健康影響について知っている人の割合をみると、全国に比べ低い傾向にあります。今後、喫煙が及ぼす健康への影響に関する知識を高めるとともに、受動喫煙への配慮にも努めることが大切です。

男性・女性の年代別にみる喫煙の有無

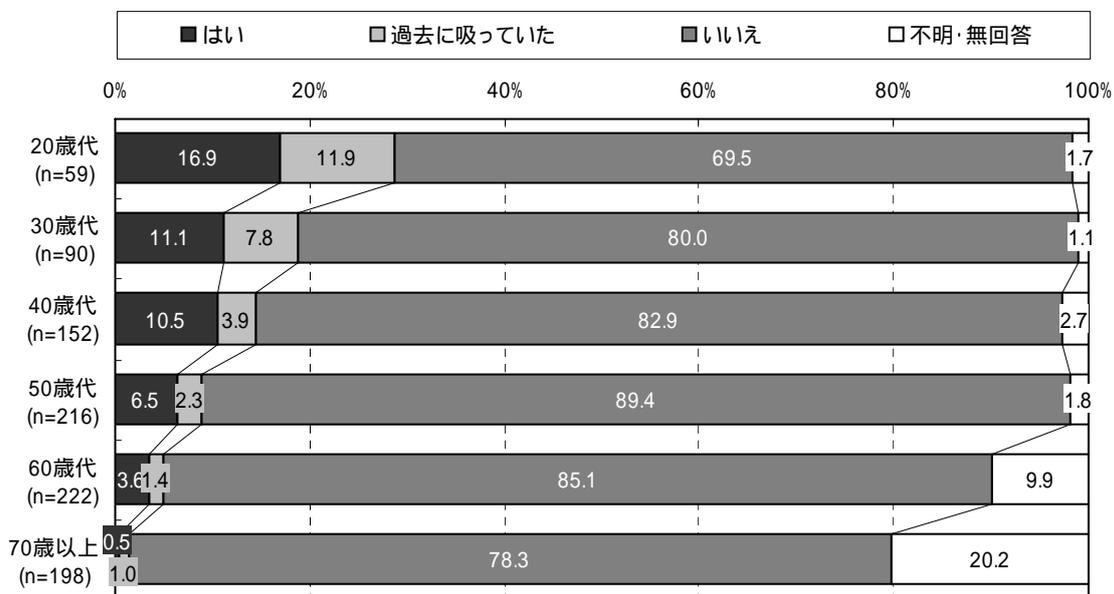
男性の喫煙の有無をみると、60歳代、70歳以上を除き、各年代で喫煙している人の割合が高くなっています。

男性の年代別にみる喫煙の有無



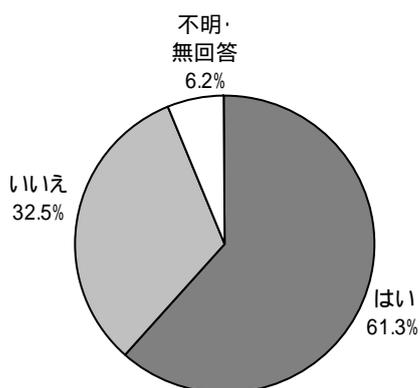
女性では喫煙していない人の割合が高く、さらに年代が上がるにつれて喫煙している人の割合も低くなっています。

女性の年代別に見る喫煙の有無

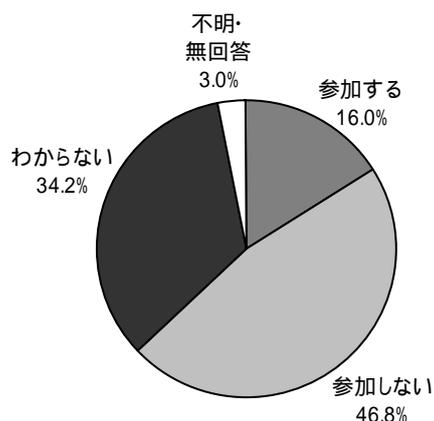


たばこをやめたいと思う人の割合とたばこをやめるための教室への参加意向
 たばこをやめたいと思う人の割合をみると、6割以上と高くなっています。しかし、たばこをやめるための教室への参加意向をみると、「参加しない」が高くなっています。

たばこをやめたいと思う人の割合
n=357

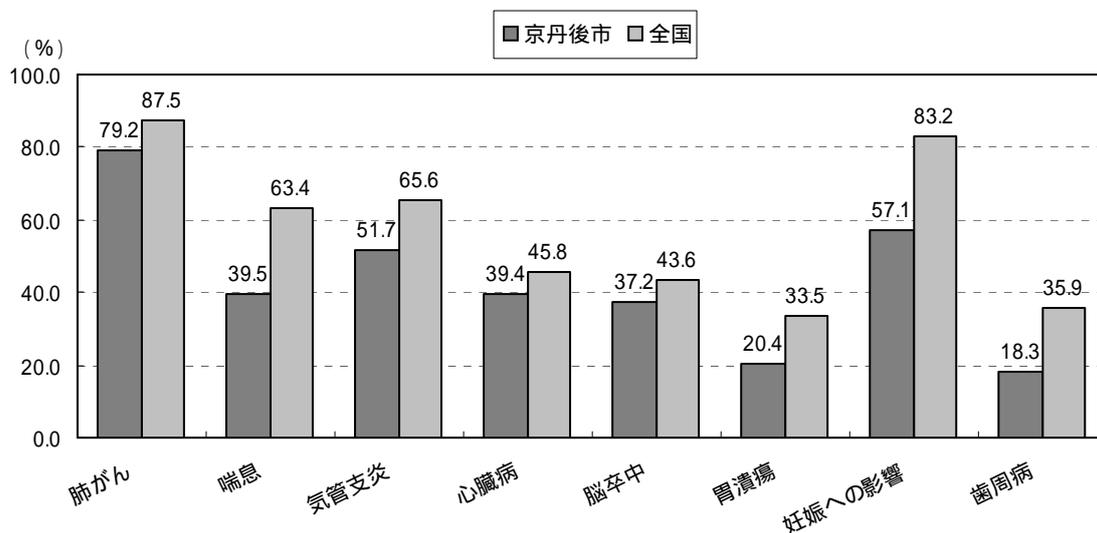


たばこをやめるための教室への参加意向
n=357



喫煙が及ぼす健康への影響について知っている人の割合

喫煙が及ぼす健康への影響について知っている人の割合をみると、全国に比べ、京丹後市では全体的に低くなっています。特に、「喘息」「胃潰瘍」「妊娠への影響」「歯周病」で低い傾向がみられます。



市民の声（住民参加によるワークショップから）

たばこを吸っている人を集めて害の話聞いてもらいたい。
平成 16 年 4 月 1 日にやめました。理由 なんとなく。 子どものため 健康のため
たばこが高価になったから。
義父は心臓を悪くしてから、やっとたばこをやめられた。
若い女性がやせるためにたばこ吸っていると聞くけどやせないよね。
たばこを吸わないので、たばこの煙が非常に気になる。
多くの人のいる所では、遠慮できるようになってほしい。
家庭内の吸う場所は、換気扇の下、窓を開けて、外で決めて吸ってほしい。
高校生が吸っていても注意できない！！
道路でのたばこのポイ捨てが気になる。

(2)「たばこ」における施策の方向

みんなの行動目標

たばこの害について知ろう

- ・ 妊娠中の害
- ・ 乳幼児への害
- ・ 病気を引き起こすという害

禁煙する人を増やそう

喫煙マナーを広めよう

未成年者の喫煙を家庭・地域で防止しよう

施策の方向

妊娠中の喫煙は胎児に大きな負担となり、また、成長期の喫煙はがん発生の因子を活発にし、さらに大量の喫煙はがん発生の引き金となります。このようなことから、喫煙が病気に関連していることを啓発し、たばこの害に関する知識の普及に努めます。

また、禁煙したい人が自分のペースでやめられるよう、相談や情報提供に努めるとともに、受動喫煙による害などを減らすため、マナーを守って喫煙するよう、呼びかけていきます。

項目	内容
たばこの害に関する知識の普及	学校・地域・行政の連携により、たばこの害に関する知識を普及し、喫煙に対する教育や指導を図ります。また、乳幼児健診・乳幼児訪問・健康教育・健康相談などを通じて、たばこに関する知識を普及するとともに、禁煙教室を開催していきます。
禁煙するための相談や情報提供	禁煙を希望する人の相談窓口を設け、禁煙を支援できる医療機関や禁煙サポート情報を提供し、本人のペースで禁煙できるよう、支援していきます。
公共の場や職場における禁煙・分煙の推進	公共の場や職場における禁煙、もしくは分煙・防煙の実施の必要性を啓発し、禁煙・分煙を推進していきます。
喫煙マナーの徹底	吸殻を自己処理するよう、携帯用灰皿を所持したり、歩きたばこをやめたり、妊婦・乳幼児・未成年者・たばこを吸わない人の前では喫煙をひかえるなど、喫煙マナーの徹底を呼びかけていきます。

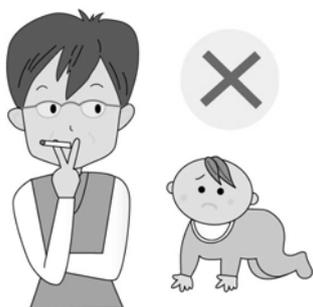
数値目標

	項目	現状値	目標値
喫煙している人の割合 【重点項目】	未成年者	-	0.0%
	全体	20.5%	現状以下(府)
	男性	38.1%	現状以下(府)
	女性	6.3%	現状以下(府)
喫煙が及ぼす健康影響 についての十分な知識 の普及(知っている人の 割合)	肺がん	79.2%	100.0%(国)
	喘息	39.5%	100.0%(国)
	気管支炎	51.7%	100.0%(国)
	心臓病	39.4%	100.0%(国)
	脳卒中	37.2%	100.0%(国)
	胃潰瘍	20.4%	100.0%(国)
	妊娠に関連した異常	57.1%	100.0%(国)
公共の場及び職場にお ける分煙の徹底(分煙を 実施している割合)	公共の場	-	100.0%(国)
	職場	-	100.0%(国)

現状値は京丹後市健康増進計画アンケート結果の数値。

目標値は基本的に府の目標値(府)に合わせており、達成している、または掲載されていない場合は国の目標値(国)を採用。

知っていますか？



たばこに含まれる化学物質は、健康に大きな害を与えます。

例えば

- 一酸化炭素 全身が酸欠状態になる
- ニコチン 強い依存性がある
- タール 多くの発がん物質が含まれる

たばこが及ぼす健康への影響

まわりへの影響

受動喫煙により、喫煙者の家族も肺がん、喘息や気管支炎などの病気にかかりやすくなる。
子どもが突然死する乳幼児突然死症候群(SIDS)は父母の喫煙習慣と関連している。
父母の喫煙習慣は中高校生の喫煙に関係しており、特に母親の喫煙習慣は娘に影響しやすい。

子どもへの影響

若いうちからの喫煙は、ニコチン依存症になりやすい。
喫煙開始年齢が早いほど、肺がんにかかる確率が高くなる。
運動時に酸素不足になりやすい。

女性への影響

低体重児が生まれやすくなる。
歯の汚れ、肌のくすみなど美容面での影響がでやすくなる。
不妊や月経不順になりやすい。
閉経が早まり、骨粗しょう症がでやすくなる。